



えんどうまめ通信

—KOMEITO—
公明党

2015年 7月 第25号

公明党朝霞市議団NEWS 発行/公明党朝霞市議団



【第2回定例会議会報告】

庁内横断的な体制の推進を！

質問

政府は1月、認知症のための初の国家戦略「新オレンジプラン」認知症施策総合戦略を発表。なぜ認知症対策を横断的な体制でやるべきなのか。それは認知症という病気の特性上、どうしてもそうした取り組みが必要だからということです。認知症で最も大事なものは、その人の「生きがい」を引き出す「環境」をどう整えるかということです。

私はこの間、他課との連携をと、強く訴えてきましたが、なかなか進まないのが現状です。地方創生が叫ばれる中、地域包括ケアシステムの構築においても、各自治体がしっかり取り組まなくてはなりません。ここであらためて、「横断的な体制で強力に推進していく」ことを宣言していただきたいと思うのですがいかがでしょうか。



空き店舗・空き家の活用を！

質問

民間の活動団体が活動できる場を確保することは、利用者さんにとっても朝霞市にとっても大いにプラスとなるはずです。

福祉的要素での活用を場を推進していくということで、空き店舗・空き家のオーナーさんと民間活動団体などを、行政が橋渡しすることが必要ではないでしょうか

答弁

高齢者の住まいの近くで、より身近な場所での活動展開となるものと考えられるため、活動場所の確保支援ができるような仕組みは、介護予防活動の充実にもつながるものと思われまますので検討してまいります。

答弁

本市における地域包括ケアシステムの構築に当たりましては、高齢者施策を担当する長寿はつらつ課を中心とした、関係部署による、庁内横断的な組織の必要性は認識しているところでございますので、早急に、連絡会議を設置してまいりたいと考えております。



朝霞市役所
一般質問
本会議場にて

多くの方に議会を傍聴いただきました。



～その他の質問～

<地域包括ケアシステムの構築>
認知症施策の推進について



- ①町内会・自治会単位での認知症サポータ講座の開催を
- ②認知症初期集中支援チームについて

質問と答弁の要旨をホームページに投稿済みです。よろしければ、お立ち寄りください。





市民相談はお気軽に
遠藤 みつひろ

090-6545-3849

ブログ
LINE
発信中

朝霞市幸町 2-2-27
TEL&FAX 048-461-6669
endou-soudan@i.softbank.jp



<http://www.komei.or.jp/km/asaka-endou-mame/>

放課後の子どもの居場所を！

今年4月より、一部の放課後児童クラブに入所待機が発生したため、保護者からの多数の声をいただき、市の緊急事業として開始され3ヶ月が経過しました「放課後こどもルーム」公明党朝霞市議団において緊急の要望書を保護者代表と一緒に提出させていただいた経緯もあります。先日も市議団で、また個人でもと、2度ルームを見学させていただきました。一度はお弁当と一緒に食べ楽しく過ごさせていただきました。「放課後児童クラブ」と「放課後こどもルーム」について何点か質問します。



放課後児童クラブ

- ・指導員の処遇や人員の確保は
答：指導員の処遇改善に努めるとともに、多岐にわたる募集を行なっています。
- ・小学校の空き教室は
答：対象の小学校を訪問し引き続きお願いをしてまいります。
- ・入所前の地域別希望者の把握は
答：小学校区ごとに翌年度の入所希望人数についての予測をたてております

放課後こどもルーム

- ・入室の保護者さんとの懇談会を
答：保護者全員からご意見やご質問のアンケートを実施したいと思います。
- ・保育室を中学校にお願いできないか
答：教育委員会や学校をまじえて、検討してまいります。
- ・児童館の下校途中の利用は
答：対象者に限り直接学校帰りに利用できる仕組みづくりを検討してまいります

～障がい児放課後児童クラブについて～

質問

朝霞市では、障害児放課後児童クラブを「NPO法人なかよしねっと」さんへ運営管理を委託し、約1年半が経過したところです。

通常総会で事業成果の報告をいただき、感謝申し上げます。

今回の質問は、総会終了後の懇談会でいただいた声から、年度の途中において、子どもを児童クラブへ入所させたいが、制度により受け入れてもらえず困っているとの内容でした。改めて代表と児童クラブの施設長とで懇談をさせていただきました。これらを踏まえ、現在の朝霞市障害児放課後児童クラブの運営管理に関する要綱の入所申請について改善を訴えます。



答弁

クラブの入所者が、環境が変化することで不安定な状態になることを懸念し、年1回の入所としておりました。今後につきましては、定員に空きがある場合には、必要に応じて年度途中の入所ができるよう改善してまいります。

手話言語条例 制定に向けて

質問

公明党朝霞市議団では、ろう者の方との懇談や大宮ろう学園の見学などもさせていただき、手話言語条例の制定を推進しているところです。手話言語条例の制定に向けての進捗状況を伺います。

答弁

これまで懇談会や、手話サークル、手話通訳者等派遣事業受託者等の代表ら、当事者の方のご意見を聴く機会を大切にしながら条例制定に関する検討を重ねてまいりました。

所沢市職員が着ける手話缶バッジ。このような物も作製し、今後も手話教室などの拡充や手話の環境を整備していただけることを要望します。



障害福祉課においては、初歩的なミニ手話講座を開始し、職員全体で手話を学ぶ取り組みを始めたところです。



パラリンピック教育



質問

文部科学省は、小中学校などの学習指導要領に「オリンピック・パラリンピック教育」を盛り込む方針を決めました。学習指導要領に明記することで必修化し、一過性に終わらせないようにする目的もあります。具体的な内容と、朝霞市においてはどのような方向性とするのか

答弁

オリンピック・パラリンピック教育の導入を期に、障がいへの理解や障がい者との共生について一層深く学ばせ、心のバリアフリーを推進し福祉教育の充実に努めてまいります。



ドッグランの設置を！



質問

市民のニーズが高いドッグラン設置について伺います。また朝霞市では積水化学工場跡地に、ショッピングモールができる計画があります。ぜひそこへ、ドッグランの設置をと、市から要望できないか合わせて伺います。

答弁

比較的大きな公園を設置する際に、設置の条件が整う場合には検討して参りたい。積水化学工業株式会社東京工場跡地の利用方針を検討している業者に対して、ドッグランの設置要望があることを伝えさせていただきます。

活動の見える化を！

・・・活動の情報発信中！・・・

「ブログ」は毎日更新！



「LINE」で気軽にチェック



「Twitter」で市の情報も

「facebookページ」で見える化



日頃寄らせていただいている団体さん等、感謝を込めてご紹介いたします。



緑ヶ丘町内会長と相談し、市内で初めてといってもよい町内会主催による認知症サポーター養成講座



地域の婦人が認知症を学びたいと市担当課へつなぎレクチャー。



自治会主体となつての拠点づくり 月1回、膝折団地集会所を使い開催



地域参加型介護予防事業 「うらの会」、月3回開催。



単身者のためのふれあいサロン 「あさがおの会」、月1回開催。



高齢者と心身障がい児者とともに療育音楽を楽しむ会、月1回開催
メイあさかセンター運営。



「朝霞こども映画塾」映像を通して子どもの無限の可能性を発見。



「朝霞アマチュア無線クラブ」趣味を通して防災活動にも貢献。



「朝霞にホタルを呼ぶ会」子どもたちで賑わう幼虫放流会。